

## 平成 25 年度 甲南女子大学見学、講演会事業報告

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

去る平成 26 年 1 月 11 日、建築家村野藤吾の設計による、甲南女子大学の見学及び講演会を行いました。

講演会の講師の先生は京都工芸繊維大学助教の笠原一人先生にお願いしました。笠原先生は村野藤吾を始めとする近代建築の研究者であり、また京都工芸繊維大学の村野藤吾設計研究会に所属し、村野藤吾に関する多くの講演や見学会をこなしてきた方です。

今回の講演のテーマは「村野藤吾の甲南女子大学キャンパスを読み解く」とし、講演いただきました。村野藤吾は数多くの学校建築を手がけておりますが、なかでも甲南女子大学は整然とした配置計画と女子大らしい品格のある意匠がたいへん特徴的であります。

講演内容は、甲南女子大学のキャンパスを構成する建物群の意匠を一つひとつ分析し、ポールルドルフやルイスカーンなどの著名な建築家の作品群との類似を指摘しつつ最終的に村野建築としてのオリジナリティーを獲得する過程などが述べられたたいへん興味深いものでした。



見学会は、笠原先生が先導し安部記念図書館と芦原講堂を中心にキャンパス全体的の見学を行いました。安部記念図書館の外観は村野建築には珍しく極めて象徴性の高いシンボリックなデザインであり、また芦原講堂のインド砂岩張りのホール内観は圧巻でした。

約 2 時間あまりの見学、講演会でしたが、厳寒のなか、多くの参加者にご参加いただき、心より感謝いたします。



日時： 平成 26 年 1 月 11 日（土） 14 : 00 : ~ 16 : 30

場所： 甲南女子大学

受講料： 会員 1500 円、会員外 2000 円

参加者： 22 名（会員 20 名）

講師： 笠原一人 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科建築造形学部門 助教

講演内容： 村野藤吾の甲南女子大学キャンパスを読み解く